

第8期

高浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

進 行 管 理 表

令和4年8月1日

1 施策の体系

<p>基本理念</p> <p>みんなで、つながり、つくろう！ いつまでも健康でいきいきと暮らせるまち たかはま</p>	<p>基本方針</p>	<p>施策の方向性</p>
	<p>■たかはま版地域包括ケアシステムの充実・強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域共生社会の実現に向けた取組の推進 ○ネットワークの充実・強化 ○地域包括ケアシステムを支える人材の確保と育成 ○住まいに関する支援の充実 ○安全・安心のまちづくりの推進
	<p>■フレイル対策と高齢者の活躍するまちづくりの推進～地域循環型福祉経済の仕組みづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防の充実 ○生きがい活動・就労の推進 ○介護予防・日常生活支援総合事業の充実 ○自立支援・重度化予防の取組と目標 ○在宅生活支援の充実
	<p>■認知症施策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症理解の促進 ○認知症予防の推進 ○認知症支援体制の構築 ○高齢者の権利擁護の推進
<p>■要介護者と介護に取り組む家族への包括的な支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○被保険者・認定者の現状と見込み ○居宅サービス等の現状と見込み ○地域密着型サービスの現状と見込み ○施設サービスの現状と見込み ○市町村特別給付（上乘せ・横だしサービス）の方向性 ○介護保険事業費・介護保険料の見込み ○介護給付の適正化の推進 ○リハビリテーション提供体制の充実 	

<施策の実施状況>

基本方針1

たかはま版地域包括ケアシステムの充実・強化

進捗状況：〇おおむね順調である

<p>施策の展開</p>	<p>〇地域共生社会の実現に向けた取組の推進 〇ネットワークの充実・強化 〇地域包括ケアシステムを支える人材の確保と育成 〇住まいに関する支援の充実 〇安全・安心のまちづくりの推進</p>
<p>進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員やまちづくり協議会など関係機関の見守り活動により、地域情報を早期に把握し、支援につなげることができた。 ・第2層（小学校区）の協議体等に参加し、地域資源の把握を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「介護事業所相互交流研修事業」を1研修のみ実施した。 ・シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、引き続き生活援助員（LSA）を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供した。 ・要配慮者が安心して利用できる福祉避難所を18か所指定した。 ・市内介護保険事業所が参加する「高齢者サービス調整会議」の場で介護ロボットの体験デモを行った。
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において医療・介護・保健・福祉の専門職が市民と一緒に活動する機会を創出し、地域全体の福祉力を向上します。 ・令和6年3月までにBCP（事業継続計画）の作成が義務化されたことから「介護事業所相互交流研修事業」として、令和4年8月と10月にBCP策定研修を実施します。 ・関係機関の協力のもと、避難行動要支援者への登録の働きかけを行い、支援体制を構築します。 ・介護ロボットの導入について、その効果を検証するとともに評価の結果を各事業所へフィードバックします。 ・ICTやロボット等先端技術を活用した研修を企画し、市内事業所が受講することで業務の効率化を図るとともにサービスの質の向上、離職防止を図ります。

※進捗状況：◎順調である 〇おおむね順調である ▲努力が必要である

(移乗サポートロボット Hug の体験デモ)



進捗状況：◎順調である

<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防の充実 ○生きがい活動・就労の推進 ○介護予防・日常生活支援総合事業の充実 ○自立支援・重度化予防の取組と目標 ○在宅生活支援の充実
<p>進捗状況</p>	<p>・元気な高齢者をはじめ地域住民が「健康自生地」の担い手として高齢者の居場所づくりを行い、令和4年7月までに新たに3か所、計121か所設置した。</p> <p>・健康教室の参加やボランティア活動など、健康づくりに関する取り組みをマイレージ（ポイント）として集め、市内協力店で使用できる優待カードを交付する「たかはま健康チャレンジ事業」を実施した。</p> <div style="text-align: center;"> <p>たかはま健康チャレンジ事業</p> <p>地域で経済が循環</p> <p>メリット ・ポイント集めを励みにフレイル予防 ・ボランティア活動による社会貢献</p> <p>元気な高齢者</p> <p>商店</p> <p>体操、ボランティアに参加し、商店で利用できるポイント付与</p> <p>商店でポイント利用</p> <p>メリット ・来店者の増加 ・ロコミの効果で売上げアップ</p> <p>介護保険サービス未利用</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が、これまで培ってきた知識や技術を活かした活動を通じて、地域交流ができる介護予防拠点施設（宅老所、ものづくり工房あかおにどん等）を開設し、管理運営についても、高齢者自身が主体的に関わっている。 ・新型コロナウイルス感染症流行による外出自粛が長期化し、筋力低下やもの忘れの進行などフレイル（虚弱）が悪化しないよう広報等で予防を周知した。 ・コロナ禍の健康づくりとして、ホコタッチを利用したウォーキングを奨励し、他の手本となる利用者を「達人」に認定し表彰した。 ・身体機能や社会活動の低下に伴い外出機会が少なくなった高齢者を対象に、外出支援、社会・知的・身体活動を促すコグニタウン事業を実施した。 ・1人暮らし高齢者等に対し、配食サービスや緊急通報装置の貸与、家事援助サービスを提供している。
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙「でいでーる」の発行や「通いの場アプリ」の紹介など、健康自生地へ出かけるきっかけづくりを行い、健康自生地を活用したフレイル予防の取り組みを進めます。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で出歩く機会が減少することでフレイル（虚弱）が進み、心身や脳の機能が低下することがないように、高齢者一人ひとりが気をつけるべきポイントなどを積極的に発信します。 ・生活支援コーディネーターが、まちづくり協議会など協議体と連携しながら、地域の課題解決に向けた取組みを進めるとともに、「介護予防のための地域ケア個別会議」を通して自立支援・重度化防止のための支援アプローチの強化を図ります。 ・利用者のニーズと民間サービスの動向を考慮し、介護者の多様な就労状況や家庭環境に対応した柔軟なサービス提供体制を検討します。 ・令和6年より高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業を開始するため、体制整備を行います。

※進捗状況 : ◎順調である ○おおむね順調である ▲努力が必要である

基本方針3	認知症施策の推進
--------------	-----------------

進捗状況 : ○おおむね順調である

施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症理解の促進 ○認知症予防の推進 ○認知症支援体制の構築 ○高齢者の権利擁護の推進
-------	---

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人と家族、地域住民など誰もが参加でき、集う場として、昭和で元気になる会が認知症カフェ「昭和で元気になるカフェ」を開催した。 ・本市の認知症サポーターは、令和4年6月末現在10,041人、総人口に占める割合は20.5%、県内では7位となった。 ・国立長寿医療研究センターと共同で認知症予防効果を検証する健康増進教室「コグニ倶楽部」を開催している。
------	---



▲コグニ倶楽部のイメージ



▲認知症カフェの様子

今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の認知症カフェの運営を支援し、気軽に集まり、交流できる集いの場となるように支援します。 ・認知症サポーター養成講座を開催し、できる限り多くの市民に認知症に対する理解を深めていきます。 ・認知症予防の取組みを、引き続き国立研究開発法人国立長寿医療研究センターと共同で実施します。 ・認知症地域支援推進員を中心に、認知症カフェや地域で収集した情報をもとに、医療機関・介護サービス事業所や地域の支援機関のネットワークを強化し、個別の支援を行います。 ・権利擁護支援センターと協力して、成年後見制度や消費者被害相談等権利擁護について総合的に取り組んでいきます。
-------	---

※進捗状況 : ◎順調である ○おおむね順調である ▲努力が必要である

進捗状況：◎順調である

<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○被保険者・認定者の現状と見込み ○居宅サービス等の現状と見込み ○地域密着型サービスの現状と見込み ○施設サービスの現状と見込み ○市町村特別給付（上乘せ・横だしサービス）の方向性 ○介護保険事業費・介護保険料の見込み ○介護給付の適正化の推進 ○リハビリテーション提供体制の充実 																																																					
<p>進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者・認定者の現状 ・居宅サービス等の現状 ・地域密着型サービスの現状 ・施設サービスの現状 <p style="text-align: right;">資料 2-2、3、4 のとおり</p> <p>・令和3年度より上乘せサービスを国基準の1.05倍まで縮小した。令和2年度との比較は下表のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">単位（人・円・％）※人数は延べ人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">要介護度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th rowspan="2">人数 減少数</th> <th rowspan="2">給付費 減少率</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>給付費</th> <th>人数</th> <th>給付費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要介護1</td> <td>112</td> <td>1,587,377</td> <td>83</td> <td>463,974</td> <td>-29</td> <td>-70.8</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>219</td> <td>3,898,512</td> <td>128</td> <td>1,032,964</td> <td>-91</td> <td>-73.5</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>221</td> <td>6,093,848</td> <td>186</td> <td>1,978,350</td> <td>-35</td> <td>-67.5</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>304</td> <td>12,983,028</td> <td>232</td> <td>3,694,893</td> <td>-72</td> <td>-71.5</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>156</td> <td>5,807,072</td> <td>153</td> <td>2,315,590</td> <td>-3</td> <td>-60.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,012</td> <td>30,369,837</td> <td>782</td> <td>9,485,771</td> <td>-230</td> <td>-68.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上乘せサービスの給付費が年間約2,100万円削減され、介護給付費の抑制に繋がった。 ・要介護度別で上乘せ給付を受けなくなった人数は様々であるが、国基準の区分支給限度基準額内での介護サービス利用へと調整したことが伺える。 ・要介護5の受給者は、上乘せ給付が縮小されたとしても限度額超でサービス利用している者の人数が変わらない。 	要介護度	令和2年度		令和3年度		人数 減少数	給付費 減少率	人数	給付費	人数	給付費	要介護1	112	1,587,377	83	463,974	-29	-70.8	要介護2	219	3,898,512	128	1,032,964	-91	-73.5	要介護3	221	6,093,848	186	1,978,350	-35	-67.5	要介護4	304	12,983,028	232	3,694,893	-72	-71.5	要介護5	156	5,807,072	153	2,315,590	-3	-60.1	合計	1,012	30,369,837	782	9,485,771	-230	-68.8
要介護度	令和2年度		令和3年度		人数 減少数	給付費 減少率																																																
	人数	給付費	人数	給付費																																																		
要介護1	112	1,587,377	83	463,974	-29	-70.8																																																
要介護2	219	3,898,512	128	1,032,964	-91	-73.5																																																
要介護3	221	6,093,848	186	1,978,350	-35	-67.5																																																
要介護4	304	12,983,028	232	3,694,893	-72	-71.5																																																
要介護5	156	5,807,072	153	2,315,590	-3	-60.1																																																
合計	1,012	30,369,837	782	9,485,771	-230	-68.8																																																
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染状況に伴い、事業計画値よりも利用者が著しく増減したサービスがあったことから、今後の動向を注視しつつ支援の充実を図っていきます。 ・上乘せ給付については、ケアプランチェック等を実施することにより適正化を図り、必要に応じ居宅介護支援事業所に指導していきます。 																																																					

※進捗状況：◎順調である ○おおむね順調である ▲努力が必要である